

2017 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [多摩市立南鶴牧小学校] 担当教諭名 [山野 友嘉] (5年1・2・3組 101名)

相手国・地域 [台湾]

海外学校名 [Taipei Municipal Zongshan Elementary School] 担当教諭名 [Hui-Ju. Wen]

■実施教科・時間数について教えてください。

アートマイルに関連した 実施教科・時間数	教 科	単 元 名	時間数
	総合的な学習の時間	世界に広がる	24

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	Culture in Hand
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	お互いの国の良いところを知ること、国同士の距離が縮まり、仲良くし、手を取り合うことが大切。平和への一歩へつながる。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・日本と台湾の国の両方の国のことを知れたことで、世界の国々に興味をもてたこと。 ・自分たちの国を紹介する際に工夫を重ねて取り組めたこと。 ・テレビ会議を多く取り入れ、顔を合わせて交流することで、より身近に感じることができたこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ会議での交流を主においてしまったため、フォーラムを通しての活動が少なく、日常的な活動ができなかった。その点は今後、改善していかなければならない。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> ・交流を重ねていくごとに、他の国に興味をもつ児童が多く、実際に3学期に取り組んだ国際理解の授業では、ほかの国に目を向けて取り組める児童が増えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に交流を重ねることで教員も世界に目を向け、授業に取り組むことができた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月	自己紹介⇒テレビ会議で自分の名前を書いた画用紙をもち、特技などを披露した。その後、好きなものを書いた紙をもちながら写真に撮り、フォーラムにアップして交流をした。	・台湾の友達を書いてくれたものをみて喜んでた。また、台湾の子ども達が拍手や反応をしてくれたので、またすぐに交流したいという意欲につながった。	総合4
共有 テーマ学習	10月	・お互いの国について紹介⇒自分の国について調べ、文と写真で紹介した。 ・台湾について調べよう⇒場所や言語など台湾の基本情報を調べ、学級で発表し合った。	・台湾の食べ物や観光地などを見て、「これ、知っている!」と嬉しそうだった。 ・調べた情報と台湾の子どもたちがつながり、身近に感じられるようになり始めた。	総合6
融合 想いを形に ・メッセージ ・壁画デザイン	10月	壁画に描き込みたいことを子供たちで出し合い、そこからデザインを考えた。台湾にも伝え、お互いの良いところを紹介し合うということで定まった。	日本の紹介したいところを考える過程で、もう一度自分たちの国について考えられたことが良かった。台湾についても興味がある様子だった。	総合2
創造 壁画制作	11月	台湾とテレビ会議し、最終的なデザインを完成させ、実行委員が中心となり、みんなで出し合った題材をもとに壁画制作を進めた。	できていくことに喜びを味わっていた。できた壁画を見て、完成がより楽しみになっている様子だった。	総合10
評価 振り返り 自己評価	3月	壁画制作や、日本の良さについて伝える活動を通して、学んだことや今後さらに深めていきたいことについてワークシートにまとめ、発表し合った。	自分たちの活動をふり返ったことで、もう一度台湾との交流について整理して考えることができていた。	総合2

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	今までなんとなく感じていた日本の良さが、調べていくことで明確になり、言葉にすることで明確になったと感じたから。
異文化を理解する力	4	台湾の文化を知ることができたし、その後、ほかの国にも目を向けていた児童も増えたから。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	3	情報収集にインターネットを活用し、発表には電子黒板を使った。まとめる際の情報の取捨選択などにはまだ課題が残る。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	3	テレビ会議をして直接、相手に伝えられたことは良かったが、英語での伝え方に課題が残った。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	3	調べたものなどをそのまま、表記し、伝えてしまうことがあり、課題が残った。
主体的に考え行動する力	3	自己紹介の際など、こういう文化を伝えたいと自ら考え、取り組む姿が多くみられた。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	5	日本の文化を伝える際には、学年の友達と協力しあって、発表をすることができた。また、壁画作成のデザインを台湾と協働して作り上げた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	壁画デザインは、何度も打ち合わせをし、さらにテレビ会議でお互いの意見を出し合い、決定できたから。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	4	自分達の作り上げた作品の鑑賞会はこれから行うが、自己評価では、自らの活動について振り返ることができた。